

FD 関連研修会 参加報告書

主 催	若手 FD 研究者ネットワーク (JFDN Jr)
企画名称・テーマ	JFDN Jr 第 4 回会宿研究会
開催日<会場>	2011 年 9 月 5 日 (月) <京都外国語大学>
参加者所属	教学部 教育開発課

参加報告

9 月 5 日 (月) に京都外国語大学で開催された「JFDN Jr 第 4 回会宿研究会」に参加した。

JFDN Jr は正式には Japan Faculty Development Network for Junior Researchers の名称で一般的に「若手 FD 研究者ネットワーク」と呼ばれており、FD 推進のための情報交換、実践研究、および情報発信をおこなうことを目的として組織されている。

1 日目は、まず参加者の自己紹介から始まり、その後、大塚雄作氏 (京都大学高等教育研究開発推進センター) から「FD 研究コミュニティの形成に向けて」と題した講演を聴き、その後、その内容についてグループディスカッションをおこなった。

大塚氏の発表では、FD を活性化させるには、まず、個と個を結びつけ「コミュニティ」を創ることが重要で、そのコミュニティ内での個の交流が FD の活性化につながるというものだった。

また、FD というと授業改善に注目しがちだが、授業改善にはカリキュラムの見直しや同僚との打合せ、目標設定等さまざまなものと複雑に絡み合うため、総合的に見直す事が重要と指摘された。

また、後半は「FD・SD お悩み相談」がおこなわれ 6 名が 1 グループとなり自由な形での意見交換をおこなった。

大塚氏が指摘した「個と個を結ぶ FD」はコミュニティ・オブ・プラクティスの発想にも繋がっており、本学の学科単位、学部単位の FD を推進していくうえでは重要な発想だと感じた。

以上